

令和7年度

事業概要書

玖珠土木事務所

目 次

1. 職員現員数	1
2. 管内の現況	2
イ. 道路現況（国道、県道）	2
ロ. 河川現況	4
ハ. 港湾現況	4
ニ. 砂防現況	5
3. 令和7年度事業概要	8
イ. 主要施策（重点事業）の執行状況	8
ロ. 公共事業施工箇所調書	10
ハ. 単独事業費調書	14
ニ. 災害復旧事業進捗状況調書	15
ホ. 工事検査実績調書	15
4. 用地、登記事務処理状況	16

1. 職員現員数

(令和7年4月1日現在)

職 種 組 織		一般行政職員		技能労務職員					計	会計年度 任用職員	備考
		事務	技術	事務補佐	技術補佐	技師	道路パトロール員	土木巡視員			
所 長			1						1		
総務課	次 長 兼 課 長	1							1		
	総 務 班	6							6	1	
	用 地 班	3							3	3	
建設・保全課	課 長		1						1		
	管 理 班	2					1		3	1	
	保 全 班		4		1		1		6	1	
	企 画・道 路 班		5						5		
	河 川 砂 防 班		5						5		
計		12	16	0	1	0	1	1	0	31	6

2. 管内の現況

玖珠土木事務所は、大分県西北部に位置する九重町・玖珠町の2町を所管区域とし、総面積は558.0km²(県全体の8.8%)、人口は20,561人(県全体の1.9%)となっている。(令和7年4月1日現在)

イ. 道路現況(国道・県道)

(道路)

(令和5年3月31日大分県道路現況調書)

道路種別	路線数	実延長(m)	改良別内訳				路面別内訳			
			改良済(m) (5.5m以上)	%	未改良(m)	%	舗装済(m)	%	未舗装(m)	%
国 道	1	(3,359) 29,175	28,445	97.5%	730	2.5%	29,175	100%	0	0%
主 要 地 方 道	6	(607) 101,489	87,971	86.7%	13,518	13.3%	101,489	100%	0	0%
一 般 県 道	13	(2,855) 104,126	61,944	59.5%	42,182	40.5%	104,126	100%	0	0%
計	20	(6,821) 234,790	178,360	76.0%	56,430	24.0%	234,790	100%	0	0%

※上段()は、旧道で外数

※改良別・路面別内訳は、旧道除き

(橋 梁)

(令和5年3月31日大分県道路現況調書)

道路種別	箇所数	橋 長(m)
国 道	26	1582.0
主 要 地 方 道	71	1,196.0
一 般 県 道	75	1,399.0
計	172	4,177.0

(旧道除く)

(トンネル)

(令和5年3月31日大分県道路現況調書)

道路種別	箇所数	延 長(m)
国 道	6	681.0
主 要 地 方 道	4	397.0
一 般 県 道	3	367.0
計	13	1445.0

(旧道除く)

ロ. 河川現況

(令和7年4月1日現在)

河川名	延長(m)	河川名	延長(m)	河川名	延長(m)
玖珠川	55,800	入道川	4,000	西田川	3,000
春田川	1,065	野上川	15,450	板屋川	1,800
山浦川	6,000	小久保川	2,380	地蔵原川	1,600
浦河内川	7,000	奥双石川	2,200	書曲川	700
夕露川	1,400	中巢川	2,000	黒川	2,840
太田川	7,450	鳴子川	9,000	大九郎川	3,500
森川	6,005	白水川	6,800	瀬戸谷川	2,300
松木川	8,300	奥郷川	2,500	黒子川	3,300
松葉川	3,200	古井川	1,100	金吉川	3,434
町田川	10,000	谷川	1,500	下河内川	1,012
黒猪鹿川	3,500	栃の木川	2,000	1級河川計	38河川 196,936
相挟間川	3,300	山下川	2,000	日出生川	10,600
宝泉寺川	1,800	後谷川	1,700	2級河川計	1河川 10,600
串野川	5,000	猪伏川	1,000	合計	39河川 207,536

ハ. 港湾現況

(令和7年4月1日現在)

港湾名	区分	備考
		該当なし

二. 砂防現況(砂防指定地)

(令和7年4月1日現在)

河川名	延長(m)	河川名	延長(m)	河川名	延長(m)
白水川	4,370	梅の木川	2,250	内匠川	1,323
板屋川	2,020	梅の木川及び支川	821	倉園川	330
西田川	3,135	小松川	320	松山川	1,150
中巢川	1,747	大浦川	6,134	第2宝泉寺川	400
鳴子川	13,600	専道川	1,000	生竜川	282
玖珠川	11,000	午王川	1,400	栗原川	850
奥双石川	1,000	平家川	2,400	陣ノ内川	141
筋湯川	2,870	米山川	1,200	日ノ迫川	128
相挟間川	4,114	清田川	2,100	木納水川	380
石原川	2,050	大谷川	465	見良津川	1,686
奥郷川	6,000	山ノ口川	1,200	麦ノ平川	580
宝泉寺川	1,800	浦河内川	2,400	高橋川	102
古井川	1,050	小平谷川	3,700	野矢川1号	593
夕露川	1,400	入道川	1,400	第2下河内川	475
黒猪鹿川	3,500	後谷川	2,050	小野原川	210
日向川	600	折戸川	1,590	春田川	2,430
山浦川	2,120	甘川水川	1,600	谷川支川	45
小久保川	2,863	後辻川	1,700	中板川	206
桐木川	1,303	花ノ木川	700	桐木川2号	76
唐杉川	218	花ノ木川支川	250	梶原川	85
松木川	3,800	栃ノ木川及び支川	1,431	春井手川	940
串野川	5,000	田代川及び第1支川並びに第2支川	2,699	柿西川	193
森川	6,550	嫁田川	1,661	田中川2号	210
野上川	10,000	嫁田川支川	650	第2地藏原川	400
音無川	4,900	円徳野川	210	中野川1号	193
音無川支川	2,200	下荻川	2,174	中野川3号	193
大岳川	800	一ノ瀬川	2,030	中城川	158
松葉川	6,500	下河内川	1,013	横道川3号	285
仲田川	6,200	日出生川	770		
相の迫川	2,200	宇土川	1,930		
南山田川	185	丸塚川	1,298		
鳴川	2,500	野倉川	275		
第2筋湯川	280	走落川	1,600	砂防河川計(指定済)	94河川 184,340

(地すべり防止区域)

(令和7年4月1日現在)

市 町 村 名	地 域 名	指 定 面 積 (ha)
該	当	な し

(急傾斜地崩壊危険区域)

● 概 成 ▲ 一部概成 ○ 実施中 × 未着手

概 成……49地区
一部概成……2地区
未着手……1地区
実施中……7地区

(令和7年4月1日現在)

町 名	地 域 名	指 定 面 積 (ha)	町 名	地 域 名	指 定 面 積 (ha)
九 重 町 (35箇所) (37.00ha)	● 富 来 口	0.20	九 重 町	○ 小 平 谷	0.69
	● 下 旦	3.00		○ 芽 原 小 野	1.98
	● 大 竹	1.30		○ 五 分 市	1.44
	● 瀬 ノ 口	2.00	玖 珠 町 (24箇所) (44.08ha)	● 岩 ケ 鼻	9.00
	● 中 ノ 坪	2.00		● 塚 脇	0.51
	● 橋 場	1.87			0.13
	● 野 上	0.32		● 十 五 駄	0.40
	● 日 向	1.35			0.01
	● 室 園	0.86		● 上 の 市	0.48
	● 粟 野 本 村	1.23		● 五 行 塚	0.68
	● 筋 湯	0.07		● 代 太 郎	2.98
	× 原	0.11		● 十 の 釣	2.81
	▲ 小 松	0.22		● 田 代	0.49
	● 穴 井	1.40		● 平 原 2 号	2.18
	● 桐 木	1.70		● 平 原	1.59
	● 陣 ノ 内	0.30	● 大 野 原	0.83	
	● 書 曲	0.48	● 大 野 原 2 号 地 区	0.44	
	● 麻 生 原	0.93	● 市 ノ 村	0.98	
	● 後 野 上	0.63	● 井 の 尻	1.18	
	● 田 尻	1.28	● 鷹 巢	0.35	
	● 後 野 上 本 村	0.37	● 杉 塚	1.33	
	● 梶 屋	0.31	● 内 河 野	2.18	
	● 北 方	1.16	● 戸 畑	1.25	
	▲ 橋 場	1.40	● 井 原	0.49	
	● 桐 木 2	0.77	● 下 の 園	3.24	
	● 狭 間	1.49	○ 井 の 尻 2	2.60	
	● 越 戸	0.25	○ 朝 見	1.10	
	● 日 向 上	0.37	○ 谷 瀬	0.77	
	● 生 竜	0.59	○ 田 の 平	4.41	
	● 釜 の 口	2.09			
	● 西 地 区	1.14			
	● 西 2	1.70	計	59箇所	81.08

急傾斜地崩壊対策事業町別(整備率)一覧表

(令和7年4月1日現在)

町名	全危険箇所数 A	要対策箇所数 B	概成箇所数 C	要対策箇所の整備率 C/B(%)
九重町	85	80	28	35.0%
玖珠町	81	76	21	27.6%
玖珠土木管内計	166	156	49	31.4%

※ 危険箇所:保全人家5戸以上の危険箇所数

※ 要対策箇所:Aのうち人工斜面を除く箇所

3. 令和7年度の事業概要

イ. 主要施策（重点事業）の執行状況

1. 一般国道387号（引治工区） 道路改良事業

（1）事業の目的及び主旨

国道387号は大分県宇佐市を起点とし、玖珠町・九重町、熊本県小国町、菊池市を經由し熊本市へ至る幹線道路である。当路線は緊急輸送道路に指定されており、玖珠・九重管内においては、大分県と熊本県との物流、観光振興、地域生活を支える最も重要な路線の一つである。

玖珠土木管内における国道387号の改良率は約98%であるが、九重町大字引治に位置する本事業区間は未改良であり、幅員狭小、線形不良等により車両の安全な通行に支障をきたしている。さらに、過去には10年間で当該区間にて32件の交通事故も発生している状況である。

このため、本事業の実施により、幅員狭小、線形不良を解消することで、走行環境の改善並びに交通の安全性向上を図る。

（2）事業の執行及び成果

国道210号との交差点から急峻な地形と玖珠川に挟まれた約1,800mの未改良区間であり、経済性を考慮し、玖珠川を最短距離で橋梁にて渡河し、国道210号と直角に交差する延長約520mのバイパスとして整備を行う予定である。これにより、幅員狭小や線形不良が解消され、走行性・安全性の向上、環境負荷の軽減が図られる。令和5年度から事業着手しており、令和6年度は道路詳細設計等を実施し、令和7年度には、地質調査、構造物詳細設計、橋梁予備設計等を実施し、事業を推進していく。

2. 一般県道書曲野田線（松木～岩室工区） 道路改良事業

（1）事業の目的及び主旨

本路線は、九重町恵良を起点とし、玖珠町戸畑に至る一般県道であり、国道210号と平行して走るバイパス機能を有し、玖珠町森中央小学校の通学路に指定されるなど、地域にとって重要な路線である。

当該区間は、幅員狭小で、通学路であるが歩道がなく、死傷事故等も発生していることから、現道拡幅整備を行い道路利用者の安全確保を図る。

（2）事業の執行及び成果

本事業は平成27年度より事業着手し、全体計画延長1,416mの道路整備を行っている。起点側約590mは、九重町大字松木に位置し、終点側約830mは玖珠町大字岩室に位置している。令和6年度は、起点側の県道と交差するJR踏切部約30mの道路改良工事を実施し、加えて、終点側は仮設道路の仮橋設置及び既設橋梁の取壊し工事と、新設橋梁の下部工2基の工事を実施している。令和7年度は、終点側の新設橋梁 上部工工事を発注予定としている。

また、事業区間中央付近にある玖珠町が実施する町道中島線の中島橋の架け替え計画と併せた道路整備を行っていく。

既に用地取得した一部区間については道路改良工事に着手しており、引き続き用地取得を進めながら道路改良工事を実施し事業推進を図る。

3. 一級河川野上川 広域河川改修事業

(1) 事業の目的及び主旨

野上川は、玖珠郡九重町大字田野の山麓に源を発し、玖珠川に流入する流域面積64.0km²の1級河川である。
本河川は令和2年7月豪雨により65戸（床上49戸・床下16戸）の家屋浸水、JR橋梁の流失等の甚大な被害が発生したため、河川整備を行い浸水被害の解消を図る。

(2) 事業の執行及び成果

本事業の全体計画延長はL=2,400mで、令和3年度から事業着手をしている。
令和7年度は、令和5年度から着手したJR橋梁（第一野上川橋梁）の架け替え工事を継続するとともに、護岸工事の整備も推進する。

4. 専道川 火山砂防事業

(1) 事業の目的及び主旨

山国川水系専道川は玖珠町北西部に位置し、保全対象として人家22戸、第2次緊急輸送道路である県道玖珠山国線及び町道専道線を含む土石流危険渓流である。
本渓流の山腹には、渓岸浸食及び倒木等が多く点在しており、集中豪雨により土石流災害の危険性が懸念されるため、早急に対策を講じて人家等の保全を図る。

(2) 事業の執行及び成果

本事業は砂防堰堤1基、渓流保全工を設置する計画で、平成29年度から事業着手をしている。
令和4年度から工事用道路を整備し、令和5年度に管理用道路と砂防堰堤の工事に着手。令和7年度は主堤の工事を推進する。

5. 横道川3号 火山砂防事業

(1) 事業の目的及び主旨

筑後川水系横道川3号は九重町北部に位置し、保全対象として人家8戸、住宅型有料老人ホームともだち村リビング山茶花（さざんか）、大分自動車道九重インター、第1次緊急輸送道路である県道飯田高原中村線及び町道重原線を含む土石流危険渓流である。
本渓流の山腹には、渓岸浸食及び倒木等が多く点在しており、集中豪雨により土石流災害の危険性が懸念されるため、早急に対策を講じて人家等の保全を図る。

(2) 事業の執行及び成果

本事業は砂防堰堤1基、渓流保全工を設置する計画で、平成28年度から事業着手をしている。
令和2年度から砂防堰堤工事に着手をしており、主堤は令和4年度に完成。令和7年度は渓流保全工事を推進する。

ロ. 公共事業施工箇所調書

※注1: 補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記入しています。

※注2: 工事費は内示額または交付申請予定額であり、執行額とは異なります。

※注3: 事務費除きの工事費を記載しています。

図面番号	区分	種別	工種	路線・河川・地区名	位置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規継続の別	概要 上段: 全体事業費 中段: 令和7年度 下段: 令和8年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)
					市町村	大字				
1	道路	補助事業	道路改良	書曲野田線 【松木～岩室工区】	九重町～ 玖珠町	松木～ 岩室	188,000 (19,000)	継続	C= 1,470,000 C= 188,000 C= 215,000	L= 1,416 L= 181 L= 207
	"	"	小計	1箇所			188,000 (19,000)			
2	道路	社会資本整備 総合交付金	道路改良	国道387号 【引治工区】	九重町	引治	84,828 (0)	継続	C= 1,900,000 C= 84,828 C= 1,830,000	L= 900 L= 40 L= 867
3	"	"	"	飯田高原中村線 【河内3工区】	九重町	町田	303,000 (1,000)	継続	C= 1,214,000 C= 303,000 C= 217,000	L= 660 L= 165 L= 118
4	"	"	"	玖珠山国線 【立羽田工区】	玖珠町	古後	400,000 (0)	継続	C= 1,213,000 C= 400,000 C= 440,000	L= 1,640 L= 541 L= 595
	"	"	小計	3箇所			787,828 (1,000)			
5	障害防止対策	補助事業	道路改良	川上玖珠線 【戦車道工区】	玖珠町	帆足	123,588 (1,000)	継続	C= 1,185,661 C= 123,588 C= 490,966	L= 900 L= 94 L= 373
	"	"	小計	1箇所			123,588 (1,000)			

※施工箇所が点在するため図面には表示していない

令和7年4月1日現在

ロ. 公共事業施工箇所調書

※注1: 補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記入しています。
 ※注2: 工事費は内示額または交付申請予定額であり、執行額とは異なります。
 ※注3: 事務費除きの工事費を記載しています。

図面 番号	区分	種別	工種	路線・河川・地区名	位置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概要 上段: 全体事業費 中段: 令和7年度 下段: 令和8年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)
					市町村	大字				
6	道路	補助事業	橋梁補修 (橋梁架替)	飯田高原中村線	九重町	小松橋	20,000 (4,000)	継続	C= 1,100,000 C= 20,000 C= 921,000	L= 166 L= 3 L= 139
※	"	"	橋梁点検	管内一円	玖珠町 九重町	管内一円	36,000 (0)	継続	C= 36,000	1式
※	"	"	トンネル点検	管内一円	玖珠町 九重町	管内一円	20,000 (0)	継続	C= 20,000	1式
※	"	"	交通安全	飯田高原中村線	九重町	田野	120,000 (0)	継続	C= 980,000 C= 120,000 C= 130,000	L= 1,200 L= 147 L= 159
※	"	"	橋梁補修	管内一円	玖珠町 九重町	管内一円	122,500 (0)	継続	C= 122,500	1式
※	"	"	小計	5箇所			318,500 (4,000)			
7	道路	防災・安全 交付金	災害防除	森耶馬溪線外	玖珠町 九重町	管内一円	55,000 (5,000)	継続	C= 55,000	1式
8	道路	防災・安全 交付金	交通安全	国道387号	玖珠町	森	12,789 (0)	継続	C= 1,600,000 C= 12,789 C= 1,588,501	L= 600 L= 5 L= 596
	"	"	小計	2箇所			67,789 (5,000)			
9	道路	社会資本 整備総合 交付金	交通安全	別府一の宮線 【長者原2工区】	九重町	長者原	53,000 (0)	継続	C= 550,000 C= 53,000 C= 0	L= 4,960 L= 478 L= 0
	"	"	小計	1箇所			53,000 (0)			
	道路	全体	合計	13箇所			1,538,705 (30,000)			

※施工箇所が点在するため図面には表示していない

令和7年4月1日現在

ロ. 公共事業施工箇所調書

※注1:補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記入しています。

※注2:工事費は内示額または交付申請予定額であり、執行額とは異なります。

※注3:事務費除きの工事費を記載しています。

図面番号	区分	種別	工種	路線・河川・地区名	位置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規継続の別	概要 上段:全体事業費 中段:令和7年度 下段:令和8年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)
					市町村	大字				
10	河川	補助事業 防災・安全 交付金	広域河川改修	野上川	九重町	右田	370,000 (10,000)	継続	C= 6,370,000 C= 370,000 C= 4,524,000	L= 2,400.0 L= 139.4 L= 1,704.5
	"	"	小計	1箇所			370,000 (10,000)			
※	砂防	補助事業	砂防メ テナ ンス	白水川外	九重町	田野外	110,000 (0)	継続	C= 110,000	1式
	"	"	小計	1箇所			110,000 (0)			
11	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	横道川3号	九重町	右田	32,000 (0)	継続	C= 547,700 C= 32,000 C= 0	H= 7.0 H= 0.4 H= 0.0
12	"	"	"	専道川	玖珠町	古後	10,000 (0)	継続	C= 287,000 C= 10,000 C= 31,270	H= 12.5 H= 0.4 H= 1.4
13	"	"	通常砂防	富迫川	九重町	引治	5,000 (0)	継続	C= 370,000 C= 5,000 C= 295,410	H= 11.5 H= 0.2 H= 9.2
14	"	"	"	横道川2号	九重町	右田	4,000 (0)	継続	C= 320,000 C= 4,000 C= 241,730	H= 13.0 H= 0.2 H= 9.8
15	"	"	"	小平谷川1号・3号	九重町	野上	30,000 (0)	継続	C= 784,000 C= 30,000 C= 582,668	H= 13.9 H= 0.5 H= 10.3
16	"	"	"	小平谷川4号	九重町	野上	30,000 (0)	継続	C= 298,000 C= 30,000 C= 225,000	H= 7.0 H= 0.7 H= 5.3
17	"	"	"	串野川1号(A)	九重町	町田	30,000 (0)	新規	C= 250,000 C= 30,000 C= 220,000	H= 6.5 H= 0.8 H= 5.7
			小計	7箇所			141,000 (0)			

※施工箇所が点在するため図面には表示していない

令和7年4月1日現在

ロ. 公共事業施工箇所調査

※注1:補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記入しています。
 ※注2:工事費は内示額または交付申請予定額であり、執行額とは異なります。
 ※注3:事務費除きの工事費を記載しています。

図面番号	区分	種別	工種	路線・河川・地区名	位置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規継続の別	概要 上段:全体事業費 中段:令和7年度 下段:令和8年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)
					市町村	大字				
18	"	"	急傾斜地 崩壊対策	茅原小野地区	九重町	後野上	6,000 (0)	継続	C= 150,000 C= 6,000 C= 84,000	L= 278.0 L= 11.1 L= 155.7
19	"	"	"	井の尻2地地区	玖珠町	四日市	26,000 (0)	継続	C= 415,500 C= 26,000 C= 44,000	L= 293.0 L= 18.3 L= 31.0
20	"	"	"	三本杉地区	玖珠町	戸畑	20,000 (0)	継続	C= 110,000 C= 20,000 C= 70,000	L= 100.0 L= 18.2 L= 63.6
※	"	"	火山噴火 警戒避難対策	九重山	九重町	田野	50,000 (0)	継続	C= 50,000	1式
	"	"	小計	4箇所			102,000 (0)			
	玖珠土木合計			26箇所			2,261,705 (40,000)			

※施工箇所が点在するため図面には表示していない

令和7年4月1日現在

ハ 単独事業費調書

※注1: 工事費は各事業担当課が別途送付する作業値を記載しており、執行額とは異なります。

※注2: 歳入不足等が生じた場合は変更が生じる可能性があります。

※注3: 事務費除きの工事費を記載しています

事業名	工事費(百万円)	摘 要
交 通 安 全 事 業	27.422	
側 溝 整 備 事 業	9.725	
道 路 防 災 事 業	87.525	
身 近 な 道 改 善 事 業	59.517	
道 路 改 良 事 業	262.575	
橋 梁 整 備 事 業	0.000	
道 路 施 設 補 修 事 業	87.681	
道 路 計	534.445	
河 川 海 岸 改 良 事 業	40.000	
緊 急 河 床 掘 削 事 業	40.000	
河 川 施 設 災 害 防 止 緊 急 対 策 事 業	130.000	
河 川 計	210.000	
急 傾 斜 地 崩 壊 対 策 事 業	63.000	
砂 防 施 設 再 生 事 業	0.000	
砂 防 施 設 ・ 急 傾 斜 地 災 害 防 止 緊 急 対 策 事 業	129.000	
砂 防 調 査 費	3.124	
砂 防 改 修 事 業	25.000	
砂 防 計	220.124	
地 域 の 安 心 基 盤 づ くり サ ポ ー ト 事 業	4.816	
そ の 他 計	4.816	
合 計	969.385	

令和7年4月1日現在

二、災害復旧事業進捗状況調書

(建設災害)

年災害	決定工事費		令和6年度までの実施額			残 工 事		
	箇所数	金額(千円)	箇所数	金額(千円)		箇所数	金額(千円)	%
4	51	1,535,242	51	1,623,174	100.0%	0	0	0.0%
5	23	879,160	23	932,065	100.0%	0	0	0.0%
6	8	247,184	8	267,119	100.0%	0	0	0.0%
計	82	2,661,586	82	2,822,358	100.0%	0	0	0.0%

(運輸災害)

計	該 当 な し							
---	---------	--	--	--	--	--	--	--

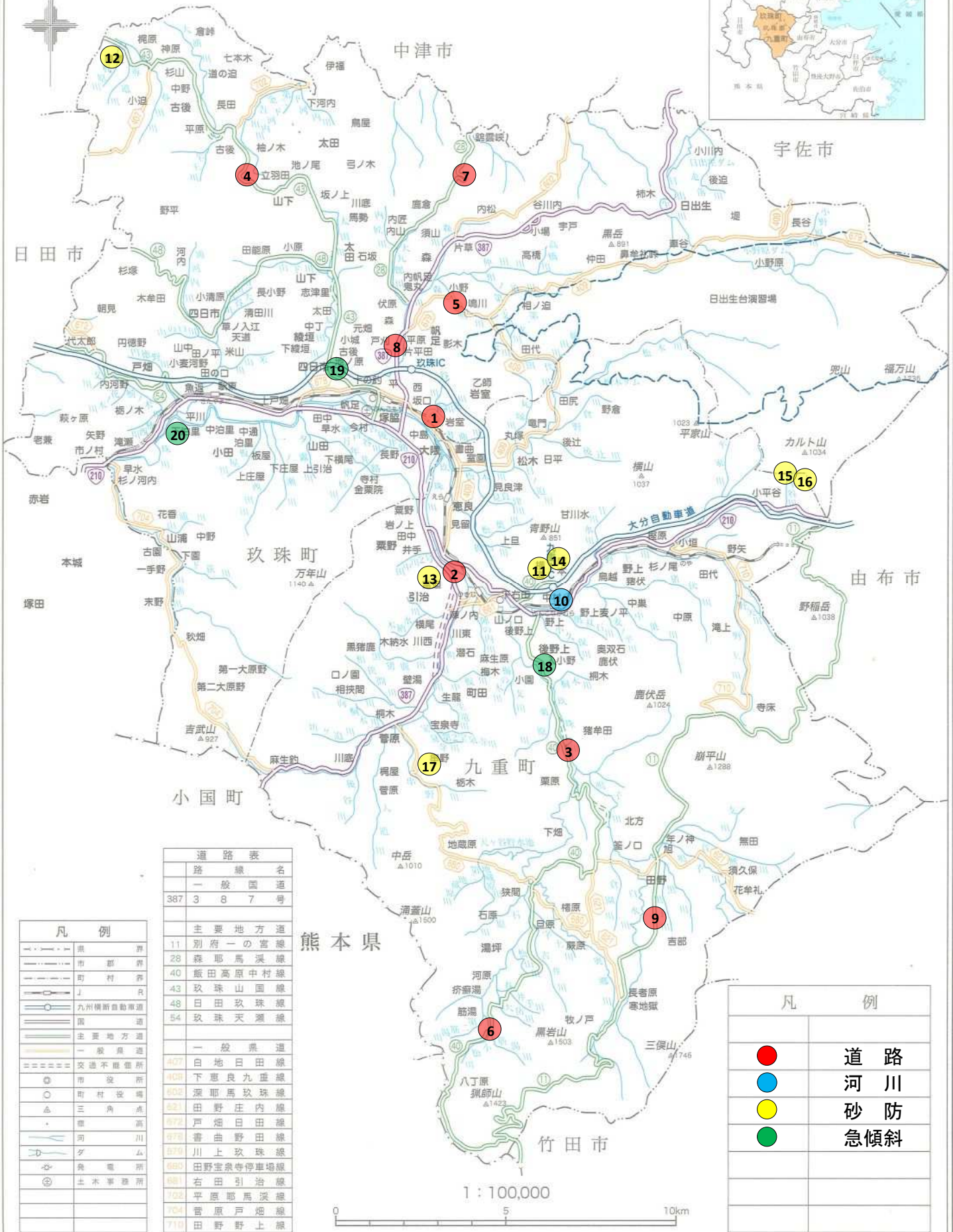
災害合計	82	2,661,586	82	2,822,358	100.0%	0	0	0.0%
------	----	-----------	----	-----------	--------	---	---	------

六、工事検査実績調書

年度別	4	5	6	摘 要
検査件数	138件	151件	128件	中間・出来形・完成の合計件数(工事検査室検査を含む)
請負金額	3,483,486千円	4,262,300千円	3,721,575千円	

令和7年度 事業箇所

大分県玖珠土木事務所管内図



道路表	
路線	名称
387	3 8 7 号
11	主要地方道 別府一の宮線
28	森耶馬溪線
40	藤田高原中村線
43	玖珠山国線
48	日田玖珠線
54	玖珠天瀬線
407	一般県道 白地日田線
408	下恵良九重線
602	深耶馬玖珠線
621	田野庄内線
672	戸畑日田線
678	書曲野田線
679	川上玖珠線
680	田野宝泉寺停車場線
681	右田引治線
723	平原耶馬溪線
704	菅原戸畑線
710	田野野上線

凡例	
---	県界
---	市界
---	郡界
---	町界
---	村界
J R	九州横断自動車道
○	国道
—	主要地方道
—	一般県道
---	交通不能箇所
○	市役所
○	町村役所
△	三角点
●	標高点
—	河川
—	ダム
—	発電所
—	土木事務所

凡例	
●	道路
●	河川
●	砂防
●	急傾斜

1 : 100,000

